使用中の注意

機器は大勢の人が順番に使用します。
マナーを守り、次に使用する人の迷惑にならないようにしましょう。

- **課題制作及び修得内容の実践の用途に限る**
- **借用中の機器は責任を持って管理する**
- **返却は借りた本人がする**
- **返却期日を守る**
  （※7 泊 8 日を超える貸出を受けたい場合は予め担当教員を通じて申請する）
- **雨や水にぬらさない。潮風にあてない。砂ぼこりをかけない**
- **レンズを指で触らない。清掃は付属の柔らかい皮やクロスで拭く**
- **あつかいは清潔な手で。汚れは清掃し、ケーブル類は束ねて返却する**
- **バッテリーは必ず充電する**
- **乾電池は原則利用者負担。消耗したときは補充して返却する**
- **取扱説明書をよく読み、丁寧にあつかう。（精密機器です！）**
- **事故が起こったときは、すみやかにメディア工房に連絡する**

連絡先	042 (328) 7711（大学代表）➡「メディア工房」と告げる

(!) マナー違反に対してはカードが発行され、貸出停止のペナルティが科せられます。

AV 機器貸出ペナルティルール

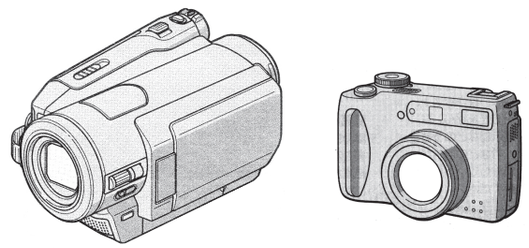
下記の各違反毎にカードが１枚発行されます。レッドカードは１枚につき１週間貸出停止。イエローカードは初心者への注意喚起のためにあり、３枚目以降はレッドカードと同じく１週間の貸出停止となります。カードは在学期間を通して累積されます。

レッドカード	無断の延滞（１日毎）※1 無断の予約キャンセル※2 放置		**＝ １週間貸出停止**
イエローカード	連絡アリの自己都合延滞※1 又貸し※3 バッテリー未充電※4 付属品返却忘れ（１日毎） 粗雑な取り扱い※5	**x3** 枚目以降	**＝ １週間貸出停止**

※1　やむを得ない事情がある時は**返却予定日までに必ず連絡**してください。
※2　予約をキャンセルする時は**貸出予定日までに必ず連絡**してください。
※3　利用者本人からの**事前連絡がない代理人受付は又貸し**とみなします。
※4　バッテリーは**フル充電**をして返却してください。
※5　雨の日の持ち運びに注意。精密機器は潮風にあてたり水・砂をかけてはいけません。

尚、紛失・破損の場合の現状復帰は利用者本人の負担となります。

メディア工房
貸出機器（AV 機器）利用のしおり



課題の制作に必要な AV 機器 / ソフトウェアの貸出しが受けられます

メディア工房に「貸出対象者」として登録された学生は、工房の AV 機器や Adobe ソフトウェアを借りて工房外（学外も含む）で使用できます。
「貸出対象者」の登録は授業単位で担当教員が行い、当該授業期間～次の学期が始まる１週間前まで有効です。

ここでは AV 機器貸出について解説します。
Adobe ソフトウェア貸出については受付でお問合せ下さい。

（2024 年度版）

貸出対象機器

	品群	説明
1群1台／2群まで	ビデオカメラ	HD/4K 小型（Sony Handycam シリーズ）、HD 大型（Sony HDR-AX2000）
	スチルカメラ	4Kミラーレス（Panasonic LUMIX FZ1000） 一眼レフ（Canon EOS Kiss シリーズ） ※APS-C コンパクト（Canon IXY140, PowerShotS200）
	特殊カメラ	全天球 360°撮影（Ricoh ThetaV）、 目線が撮れるウェアラブル（Panasonic HX-A500） スタビライザ付き（DJI OSMO Pocket）、 アクションカム（GoPro HERO12）
1群2台	一眼レフ用交換レンズ	焦点距離を変える 標準 50mmF1.8 30mmF1.4 / 等倍マクロ 60mmF2.8 150mmF2.8 / 広角ズーム 8-16mmF4.5-5.6 10-22mmF3.5-4.5 / 望遠ズーム 50-500mmF4.5-6.3 / 対角魚眼 10mmF2.8 ※主に Canon, Sigma
	一眼レフ用レンズフィルタ	画質に効果を与える ソフトフォーカス、クロスの光、反射を抑え 色鮮やかにする、など
	マイク	ハンドマイク：手持ちインタビュー用ダイナミックマイク（Shure SM63LB）
		ショットガン：やや遠くの狙った音を録る マイクブーム取付型、カメラシュー取付型、iPhone取付型
		ステレオ：空間の立体感を録る カメラシュー取付型 ※マイクホルダで三脚に取付可能
		ピンマイク：至近距離の音をクリアに録る 有線型、UHFワイヤレス型、 Bluetoothワイヤレス型
1群1台	USB マイク	パソコンに繋ぐ配信用（AKG LYRA、Zoom ZDM-1PM）
	マイクブーム	ガンマイクで頭上から録音するための支持棒
	マイクボックス	モノラルマイク２本をカメラにつなぎステレオ録音する
	PCM レコーダ	ステレオマイク付き小型録音機（Tascam DR シリーズ）
	LEDバッテリーライト	カメラ取付型（LPL VL-540C）、大型（LPL VLP-9000X）、マクロリングライト（LPL VLR-490）
	スピードライト	一眼レフと連動するスピードライト（Canon 430EXIII）
	有線電源ライト	[AC] スチル撮影用蛍光灯デフューザ付 40W（RIFA）、 [USB] 配信用LEDリングライト
	レフ／デフューズ板	撮影時の光を反射／緩和させる ※物撮り用ミニスタジオ型あり
	ビデオモニタ	カメラに接続する液晶モニタ ※3型、[AC]8型あり
	ヘッドフォン	カメラに接続し録音状態を確認する（Sony MDR-XD200）
	カチンコ	撮影時にカメラ前で鳴らすことで開始点と終了点を記録する
	音声ミキサ	[AC/USB] 配信向き（Art USB MIX4）
	移動撮影機	レールスライダ（edelkrone SLIDERPLUS）、ドリー（Libec DL-5RB）
	ライトスタンド	照明用三脚 ※背景紙ホルダと背景紙の付属可
	スマホ支持具	自撮り棒、スタビライザ（DJI OSMO Mobile シリーズ）
	VR ゴーグル	オールインワンVRヘッドセット（Meta Quest2） ※Meta アカウントと個別アプリは各自用意
必要台数分	カメラ支持具	三脚各種、一脚、ゴリラポッド、スマホ用三脚、スマホ用三脚座、自由雲台、簡易クレーン、 DJI RoninS、グリップハンドル、カメラサポート、ウェアラブルアクセサリ、GoPro アクセサリ
	一眼レフアクセサリ	無線リモコン、タイマーリモコン、シューアダプタ、予備バッテリ
	その他	マイクホルダ、ウエイト、クリップハンガー、USB カードリーダ、ケーブル類 ※お問合せください

※新規導入機器情報は受付にて随時おしらせします。お問い合わせください

貸出の手順

① メディア工房受付で学生証を提示し借りたい機器を申し出る

※１品群につき１台（左表参照）

例）ハンディカムとマイクは同時に借りられますが、１度にハンディカム２台は借りられません

② 申請用紙をスタッフから受け取り必要事項を記入する

貸出期間は７泊８日以内

※受付にて事前予約もできます
※資格有効期間は当該授業期間～次の学期が始まる１週間前までです

③ スタッフが機器を用意したら内容を確認する

※付属品を紛失すると借りた人が弁償することになります
貸出時にちゃんと揃っていることをチェックしてください

④ 確認したら申請用紙のサイン欄に署名する

手続き終了です

返却の手順

① 返却する前に必ず機器の整備をする

- **バッテリーパックを「フル充電」する**
- **カメラの映像 / 画像データを消去する**
- **変更した設定は元に戻す**

※整備不良はイエローカードの対象となります
（→次のページ）

② メディア工房受付で名前を告げる スタッフと一緒に機器の内容を確認する

※機器の不調などで気づいた事はこの時に報告をお願いします
※紛失、破損、バッテリー充電不足などの不具合は正確に申告してください

手続き終了です